

地域共生ステーション

整備へ

ID 082787

将来に向けた モデル空間

地域住民がお互いに寄り添い、支え合える社会“地域共生社会”の実現に向け、市は川添公園周辺に、そのモデルケースとなる「(仮称)地域共生ステーション」を整備します。

※本記事の施設名称などは、いずれも現時点での仮称です

問 福祉政策課 / Tel.674-7162



01 求められる地域共生社会

“地域共生社会”とは、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながることで、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに築っていく社会を言います。

国内では、高齢化の中で人口減少が進行し、福祉ニーズが多様化、複合化しています。また人口減による担い手の不足や、血縁・地縁・社縁といったつながりの希薄化も課題となっています。人と人、人と社会がつながり支え合う取り組みが生まれやすいような環境を整える新たなアプローチが求められています。



出典：厚生労働省ホームページ

02 川添公園周辺を再整備



場所：川添1丁目

整備予定地は、川添公園北側（左地図、約2万㎡）です（詳細は次のページ）。

この地域は、生活に必要な買い物ができるお店や、保育所、幼稚園、小・中学校などがあり、比較的静かで良好な住環境が整っていて、古くから地域活動や地区福祉活動が活発です。

03 全ての人にとって…

生活上の困難を抱える高齢者や障がい者、子どもも含め、誰もが、生きがいや希望を持ち、安心して生活を送ることができるよう、支えが必要な人に寄り添う地域社会をつくる観点から、このモデル空間を整備します。



地域共生ステーションのコンセプト

過ごす人、訪れる人、全ての人

- ・希望を持ち、夢を育める機会がある
- ・安心して過ごせる
- ・人や地域社会と関わり合いを持てる
- ・地域や訪れる人のために役割を持てる



出典：厚生労働省ホームページ

高槻版地域共生社会 実現への第一歩

近年、少子高齢化の進行やライフスタイルの多様化などにより、福祉分野を取り巻く環境は大きく変化しています。そのような中、複雑化・複合化する福祉課題に対応するため、住民同士が支え合う“地域共生社会”へ移行することが望まれています。

今回、整備を進めていく「地域共生ステーション」は、福祉の観点だけでなく、地域づくりや多世代交流も視野に入れた「地域共生社会の実現に向けたモデル」となります。この取り組みや成果を第一歩として、この先、市民が地域の繋がりのなかで希望や生きがいを持ち安心して暮らすことができる“高槻版地域共生社会”の実現を目指します。



高槻市長
濱田剛史

04 未来予想図①-土地利用

地域共生ステーションの敷地内には、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、全ての人が人と関わりながら、楽しく、いきいきできる空間となるよう施設を整備します。



福祉施設
介護サービス・グループホームなど。福祉の仕事体験や福祉避難所としての機能も想定

農福連携広場
高齢者や障がい者が農業体験・就労体験できる

広場
敷地の中央に約9,000㎡の広場。さまざまなイベントや催し物、障がい者スポーツもできる

地域共生センター
さまざまな活動拠点。エントランスホールではイベントや展示などで交流スペースにも

インクルーシブ広場
遊具を設置したインクルーシブ広場



外周園路・散策路
園路は、車いす優先レーン付き。散歩・ジョギング・健康ウォークができるよう周回可能な形を予定

※具体的には、詳細な検討・設計によって決定するため内容などが変更する場合があります。写真は全てイメージです

令和10年度頃に完成

施設の運営開始は令和10年度頃を予定しています。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	
基本構想	基本計画・初期造成工事 運営主体検討		
令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計・工事			運営開始

パネル説明会

地域の皆さんにパネル展示による説明会を開催。個別のご意見・質問にもお答えします。

日時 3/18(土)10:00~15:00
19(日)10:00~13:00

場所 寿栄コミュニティセンター

05 未来予想図②-事業展開

人や社会とのつながりの中で自分らしく生きていくことをテーマに、さまざまな事業を展開します。

まるごと相談窓口
困りごとを気軽に相談



エントランスホール (地域共生センター)
エントランス開放空間や展示などのスペース、みんなの居場所と一体的に利用



展示・図書・啓発コーナー

障がい者アート展示や子ども絵画展示、その他の地域共生展示、パンフレット配架など



みんなの居場所

子どもから高齢者まで、障がいのある人ない人も気軽に訪れ、共に、または思い思いに過ごせる場所



障がい者・多世代アート展示会



生活困りごとマッチング
外出付き添いのボランティアや、買い物やゴミ出しのお手伝い



コ・ワーキングスペース
インクルーシブな共用オフィス。障がい者の就労訓練も



福祉の仕事体験

障がい者スポーツ教室
専門設備と専門指導員が教室を開催。社会参加を超えて、スポーツ大会出場を目指す。インクルーシブなスポーツ体験教室も

多目的ホール・避難所・備蓄倉庫

eスポーツ体験
eスポーツ体験、介護予防やリハビリ活用、ハンデゼロでの競技で生きがい創出。ゲームを通して多世代交流も

障がい者アート (絵画)・スポーツ室



講座開催

スマホ教室

畑活プロジェクト



カフェ・ベーカリー (障がい者就労)

地域共生ステーションで収穫した農産物を利用。子ども食堂機能付き



もてきん体操

つどいの広場
地域の子育て支援拠点施設



マルシェ・フリマ

障がいのある人や地域の人が作った商品の展示、販売会

※具体的には、詳細な検討・設計によって決定するため内容などが変更する場合があります。写真は全てイメージです